

広報

にしあいづ

7

2022

No.765



もくじ - Contents -

P2 特集 **西会津なつかしcarショー2022 フォトギャラリー**

P4 まちの話題

西会津小学校大運動会、レディースゲートボール大会、
大山まつり、西会津こども研幾塾開塾式 ほか

西会津なつかしcarショー 2022 フォトギャラリー

農業用発動機や働く車も登場

会場では、さまざまなコーナーが設けられ、農業用発動機の展示コーナーでは午前と午後に一斉運転を行い、「ポッポッポッ」というエンジン音が会場に響き渡りました。

働く車コーナーでは、自衛隊や警察、消防などの特殊車両をはじめ、会津ケーブルテレビ保守管理組合の高所作業車なども展示され、子どもや家族連れによる試乗体験でにぎわいました。



農業用発動機の展示コーナー

5月29日、「西会津なつかしcarショー」が3年ぶりに開催され、県内外のオーナーの皆さんが所有する自慢の車やバイクなどが集結しました。今月号では、往年の旧車・名車を一目見ようと、町内外から約6,000人の来場者が詰め掛けたイベントの様子をお届けします。



ミニ消防車



高所作業車の試乗体験



フリーマーケット



約200台が集結!

今回エントリーのあった中で最も古い車は「1930年式TMフォード」。会場では、ほかにもトヨタ2000GTや日産スカイラインなど1960～1980年代の旧車・名車、スーパーカー、二輪車など約200台がずらりと並びました。来場者の皆さんは、思い思いに車を眺めたり、写真を撮ったりして楽しんでいました。



VW ビートル (1976年式)

ステージイベント

ステージでは、ご当地ヒーロー「丞神デナー」ショーや「福島ベンチャーズ」によるスペシャルライブが行われたほか、にしあいづ観光クルーによる町の観光PRも行われ、会場を盛り上げました。また、イベントの最後には、車両出展者を対象とした抽選会も行われ、当選者には町の特産品が贈られました。



福島ベンチャーズによるスペシャルライブ



当選者の皆さんと関係者で記念撮影



大山さゆり太鼓による演奏



TM フォード (1930年式)



トヨタ 2000GT (1969年式)

なじやかな願いも聞きなされる山の神様を訪ねて 春の例大祭「大山まつり」

今年も6月の1カ月間にわたり、大山祇神社春の例大祭「大山まつり」が開催され、町内外から多くの参拝客が訪れました。また、期間中はさまざまなイベントが開催され、まつりを盛り上げました。

同1日のオープニングセレモニーでは、テープカットや大山さゆり太鼓の皆さんによる演奏が行われたり、大山まんじゅうが振る舞われたりなど、参拝客の皆さんを歓迎しました。ほかにも、ガイドとともに御本社へ参拝する「大山トレッキング」や、境内で抹茶が味わえる「大山茶会」、出ヶ原和紙の紙漉き体験ができる「なじやかな願いもかみ頼み」など、大山祇神社や町の魅力を味わえるイベントが開催されました。



西会津を知り、未来を学ぶ 西会津こども研幾塾 開塾式

6月17日、西会津こども研幾塾の開塾式が町役場で行われ、第4期生として西会津小5・6年生から11人が入塾しました。西会津こども研幾塾は、町の歴史や文化、自然、産業などについて理解を深め、町の未来を担う人材の育成を図ることを目的に11月まで体験活動などを行います。

この日は、薄町長から町の現状や施策についての講話が行われ、塾生の皆さんは真剣に耳を傾けながら理解を深めていました。



▲西会津こども研幾塾第4期生の皆さん

高校生の感性で空間をデザイン！ 西高生が古民家ワークショップ

西会津高校では、5月17日に空き家の再生に取り組んでいる笠間拓朗さんと佐藤雄太さんを講師に招いて古民家ワークショップを行いました。当日は、リフォーム中の古民家で漆喰塗り（しっくい）を体験しました。生徒たちは、初めて触れる漆喰とその塗り方についての説明を受け、自分の塗った跡が残ると聞いて、真剣な表情で取り組んでいました。体験を通し、近年の空き家問題について考えるきっかけになったようでした。



(写真提供：西会津高校)



勝利を目指して一致団結！ 西会津小学校大運動会

「自分を信じ 仲間を信じ 一致団結 西小っ子」を大会スローガンに、5月21日に西会津小学校大運動会が西会津中学校第1グラウンドで行われました。

今年は、徒競走や玉入れなどの定番競技のほかに、竹とんぼなどの昔遊びを取り入れた「Back to 昔遊び」や、大きく長いバトンを持って3人1組で走る「ビッグロングバトンリレー」など工夫を凝らした競技も行われ、家族などからの声援を背に児童たちはグラウンドを駆け回りました。

最終種目の男子代表リレーでは、最終走者がゴール直前まで接戦を繰り広げ、会場は盛り上がりました。熱戦の結果、紅組251点、白組205点で紅組が優勝の栄冠を手に入れました。



晴天の下、はつらつプレー！ レディースゲートボール大会

5月26日、レディースゲートボール大会がさゆり公園ふれあい広場で開催され、町内から10チームが参加しました。女性のみで構成されたチームが参加する本大会は3年ぶりの開催で、今回で30回目の節目を迎えました。試合では、選手同士が「ナイスボール！」と声を掛け合いながら熱戦を繰り広げ、萱本Cチームが見事優勝に輝きました。【大会結果】優勝＝萱本C、準優勝＝下野尻、第3位＝萱本B、芝草



▲優勝した萱本Cチームの皆さん

各種公民館講座がスタート！

令和4年度の各種公民館講座が続々とスタートしています。受講者の皆さんは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、さまざまな活動を通じて教養を深め、健康と体力の増進を図っています。

今月号では、その中から3講座の開講式や活動の様子を紹介します。

新郷いきいき倶楽部



新郷地区の人を対象にした「新郷いきいき倶楽部」の第1回学習会を5月26日に新郷連絡所で開催し、7人が参加しました。

学習会では、「デジタル教室」と題し、町役場でデジタル化を担当する企画情報課の職員を講師にスマートフォンの使い方について学び、カメラアプリや地図アプリなどを利用して操作方法を体験しました。

受講者からは「今まで電話やメールなど必要最低限の機能しか使っていなかったため、地図アプリなどの便利な機能を教えてもらうことができ良かった」との感想が寄せられました。



成人講座 ～女性コース～



成人講座～女性コースの第1回学習会を5月26日に町公民館大ホールで開催し、9人が参加しました。

当日は、地域おこし協力隊で野菜ソムリエの資格を持つ星野壮祐さんを講師に招き、「野菜ソムリエに学ぶ野菜のコト」と題して講話が行われました。受講者の皆さんは、野菜の鮮度の見分け方や山菜のアク抜きの方法などについて、メモを取りながら熱心に学習していました。



西中図書館 新刊オススメ本



『仕込み5分の漬けとく献立』
[市瀬悦子 著]
オレンジページ

「帰ったら、すぐごはん作らなきゃ!」。そんな毎日忙しい人のために生まれたレシピが『漬けとく献立』です。

作り方のルールはたったひとつ。朝、メインの肉や魚をたれにパパッと「漬けて」おいて、夜は火を通すだけ。材料の仕込みは全部「朝」なので、副菜と一緒に作っても帰って10分で絶品ごはんのできあがりです。

一度に2品を段取りよく作るヒントや調理のコツなども分かりやすく紹介されています。おうちごはんの新定番に、ぜひ作ってみてください。



『ウルトラ図解 骨粗鬆症』
[竹内 靖博 監修]
法研

『温暖化に負けない!バラ栽培のすべて』
[鈴木 満男 著]
NHK 出版



『幸村を討て』
[今村 翔吾 著]
中央公論新社

『剣持麗子のワンナイト推理』
[新川 帆立 著]
宝島社



そば打ち講座

今年で3年目となるそば打ち講座の第1回が5月21日にさゆりオートキャンプ場管理棟で開催され、午前と午後の部にそれぞれ7人と4人が参加しました。

本講座には、3年前から参加している受講者やそば打ちは初めてという受講者もおり、講師から手順や水・お湯の量などの全体説明を受け、それぞれ個人指導も行われました。受講者からは「そば打ちは家族からも好評で、自分で打つのは楽しい」といった声も聞かれました。





本年度は平均で一人当たり1万90円、一世帯当たり1万4535円の減税

本年度の国民健康保険税（国保税）の税率が6月議会定例会で可決され、決定しました。町では、基金（預金）から減税財源を計画的に充当し、国保税の負担軽減を図っています。今月号では、その内容をお知らせします。

国民健康保険とは

国民健康保険は、加入する皆さんが病気やけがをしたとき、誰もが少ない負担で安心して医療を受けられるように定められた制度で、加入者同士が互いに助け合う相互扶助の精神で成り立っています。

町と県が協力して運営

国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤となる仕組みですが、「高齢者の加入割合が高く、1人当たりの医療費が高い」「財政基盤が不安定」といった構造的な課題を抱えています。

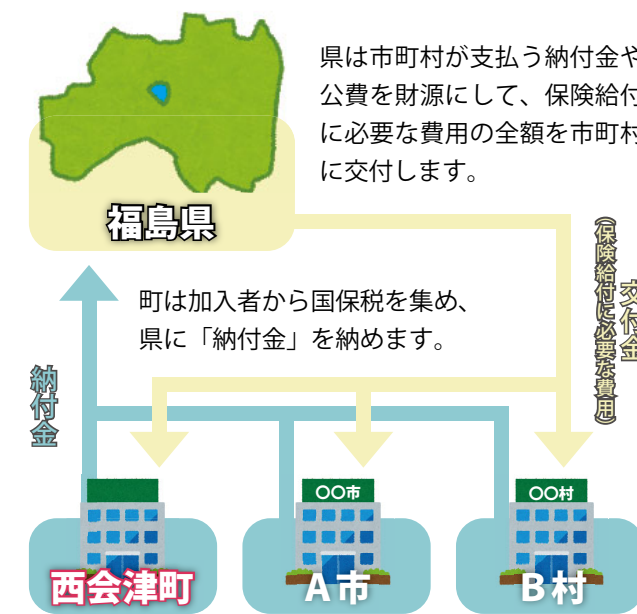
この国民皆保険制度を将来にわたって守り続けるため、

県の役割

平成30年度から都道府県が市町村とともに国民健康保険の保険者になり、協力して運営を担い、安定的な財政運営と効率的な事業を行っています（図表1を参照）。

県は、市町村からの国保事業費納付金（以下、納付金）や国の補助金等を財源として保険給付に必要な費用を全

図表1 国保財政運営の役割分担



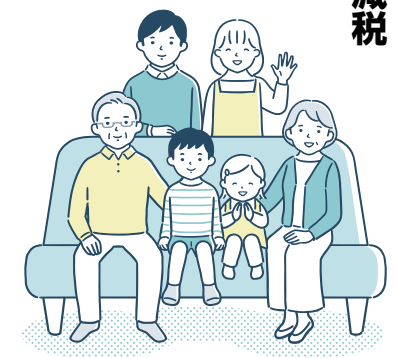
県は市町村が支払う納付金や公費を財源にして、保険給付に必要な費用の全額を市町村に交付します。

町は加入者から国保税を集め、県に「納付金」を納めます。

業費納付金（以下、納付金）

や国の補助金等を財源として

保険給付に必要な費用を全



額、各市町村に交付します。また、財政運営の責任主体となり、市町村事務の効率化を図るなど、中心的な役割を担っています。

町の役割

町は、被保険者証（以下、保険証）の交付事務や保険給付などの申請・届出の受付、国保税の課税・徴収、特定健診などの保健事業を行っています。また、国保税などを財源に県へ納付金を納付します。

税率と税額の算定

国保税は、①国保加入者の医療費の状況によって決める「医療分」、②国全体の後期高齢者医療制度の医療費の状

況によって決める「後期高齢者支援金分」、③国全体の介護サービス費の状況で決める「介護保険分」の3つの区分で必要額を算定し、税率を決定します。

本年度の税率と税額

医療分Ⅱ納付金や保健事業費等の支出費用から国保税の必要額を算出し、税率を算定します。本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響による所得状況などを考慮し、加

入者の負担軽減を図るため、基金から計画的に繰入している400万円に加え、さらに200万円を上乗せして減税財源としました。今後も将来的な国保税の県統一化を見据え、計画的に基金を活用していきます。

後期高齢者支援金分Ⅱ75歳以上の人が加入する後期高齢者医療の経費を国全体で賄うため、国保でも一定割合を負担しています。県が示した納付金を基に算定した結果、引き下げとなりました。

介護保険分Ⅱ40歳から64歳までの国保加入者は、介護保険料を国保税として納めます。県が示した納付金を基に算定した結果、引き下げとなりました。

それぞれの区分で算定した結果、昨年と比較して、1人当たりの平均負担額は1万90円、1世帯当たりの平均負担額は1万4535円の減額となりました。

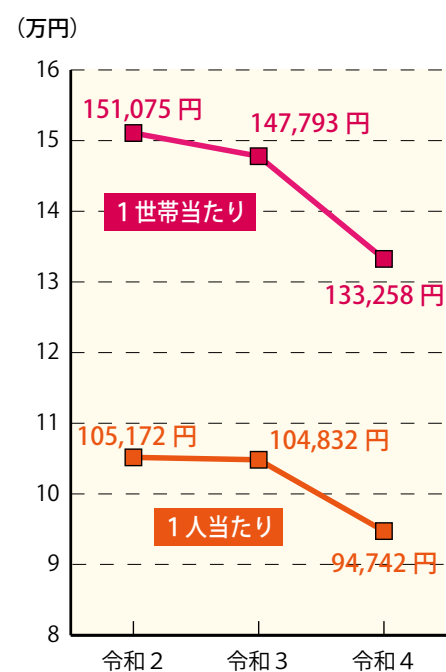
図表2 令和4年度の税率と税額

※（ ）内は前年度比

区分	説明	医療分	後期高齢者支援金分	介護保険分	全体の税額に占める割合
所得割	国保加入者の前年の所得に応じて計算	6.66% (+ 0.34%)	2.97% (+ 0.2%)	2.65% (- 0.72%)	49% (± 0%)
均等割	国保加入者1人当たりの負担額	20,400円 (- 1,600円)	9,200円 (- 400円)	10,600円 (- 5,000円)	35% (± 0%)
平等割	1世帯当たりの負担額	15,200円 (- 400円)	6,200円 (- 800円)	5,200円 (- 3,000円)	16% (± 0%)

区分	医療分	後期高齢者支援金分	介護保険分	計
1人当たりの平均負担額	48,848円 (- 1,621円)	21,383円 (- 356円)	24,511円 (- 8,113円)	94,742円 (- 10,090円)
1世帯当たりの平均負担額	73,106円 (- 3,903円)	32,002円 (- 1,169円)	28,150円 (- 9,463円)	133,258円 (- 14,535円)

グラフ1 町の平均負担額の推移



保険証の更新と返却

毎年8月に国民健康保険の保険証の一斉更新を行います。

新しい保険証は、7月末までに世帯主宛てに郵送されます。現在使用している保険証の有効期限が切れたら、町役場健康増進課に返却するか、各自で破棄してください。破棄する場合は、個人情報に留意の上、裁断などにより確実に破棄してください。

日頃から「健康」を意識

町では、疾病の早期発見・早期治療に向け、各種健（検）

診を実施しています。国保の特定健診は、1年に1回8千円相当の検査を無料で受けられ、自身の体の状態が確認できるチャンスです。また、生活習慣全般に対する健康意識の向上と健康づくりのため、家庭での血圧測定の習慣化と「健康ポイント手帳」の取り組みをセットで推進しています。

〈問い合わせ先〉

- 国保税について
町民税務課 税務係
☎ 45-2212
- 保険証について
健康増進課 国保係
☎ 45-4532



保険料率や自己負担割合などの変更 後期高齢者医療制度の見直し

後期高齢者医療制度は、実施主体である福島県後期高齢者医療広域連合が、保険料やそれにかかる特例措置などについて、定期的に見直しを実施してきました。今月号では、見直された本年度の保険料率と均等割額の軽減措置および自己負担割合についてお知らせします。

後期高齢者医療制度とは
後期高齢者医療制度は、75歳以上の人および一定の障がいがある65歳以上74歳以下の人のうち認定を受けた人が加入する医療制度です。

保険料率の改定
年間保険料は、制度加入者全員が等しく負担する「均等割額」と所得に応じて負担する「所得割額」の合計額となります。（図表1を参照）
年度の途中で加入された場合の保険料は、加入した月からの月割で計算します。所得の低い世帯の人には、制度加入者と世帯主の所得に応じて均等割額が軽減されます。

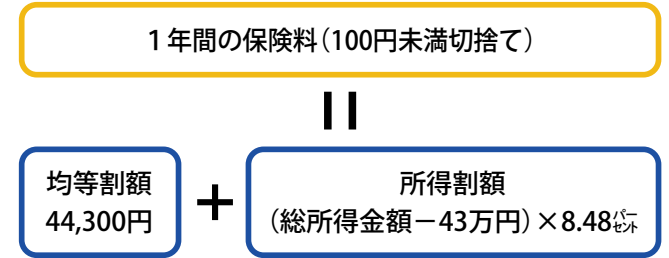
保険料の計算方法

保険料率の改定内容

医療費の財源の内訳は、医療機関などで支払う自己負担額を除き、制度加入者（被保険者）が納める保険料が約1割、現役世代からの支援金が約4割、国・県・市町村が負担する公費が約5割となっています。
なお、保険料は制度加入者全員が負担することになりますので、制度加入前まで社会保険の被扶養者だった人にも

本制度では、今後見込まれる医療給付費に見合う保険料収入を確保し、健全な財政運営を維持するため、2年ごとに保険料率の見直しをします。今回は、令和4～5年度の保険料率が、均等割額4万4300円・所得割率8・48割と改定されました。

図表1 保険料の計算方法



※令和2・3年度保険料率は、均等割額43,300円・所得割率8.23%

図表2 軽減割合とその条件

同一世帯内の制度加入者と世帯主の総所得金額等の合計額	軽減割合
43万円+10万円×(年金・給与所得者の数-1)以下	7割
43万円+10万円×(年金・給与所得者の数-1)+28.5万円×制度加入者数以下	5割
43万円+10万円×(年金・給与所得者の数-1)+52万円×制度加入者数以下	2割

均等割額の軽減措置
同一世帯内の制度加入者と世帯主の総所得金額などの合計額によって、図表2のとおり均等割額が軽減されます。この保険料については、毎年8月に通知書を送付していただきますので、通知書が届いたら内容を確認しましょう。

自己負担割合について 窓口負担の改正内容

団塊の世代が75歳以上となり始め、医療費の増大が見込まれています。そのため、今年10月より窓口で支払う医療費について、現役並みの所得のある3割負担の人を除き、一定以上の所得のある人は2割に変更となります。2割の対象となるかどうかは11ページの図表3で判定します。

2割負担になる人への配慮措置

今年10月1日の施行後3年間は、窓口負担が2割になる人に対し、1カ月の外来医療の負担額を3千円までに抑える配慮措置があります。配慮措置の適用で払い戻しになる場合は、高額医療費として払い戻されます。



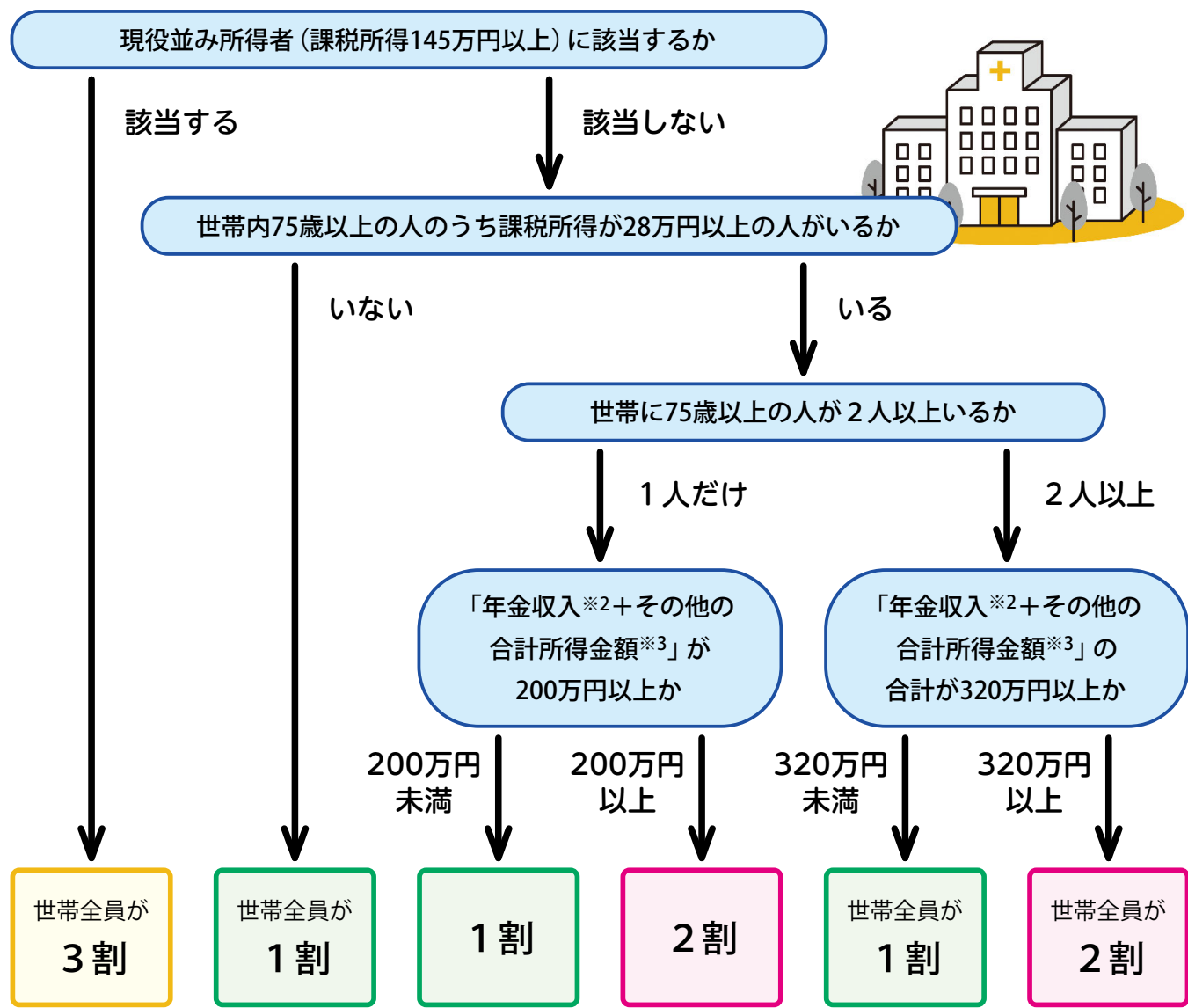
保険証の更新について

窓口負担の改正手続きのため、今年の保険証の一斉更新は図表4のとおり「2回」となります。
なお、有効期限が切れた保険証は、町役場に返却するか、個人情報に注意の上で各自で破棄してください。

図表3 窓口負担割合の判定にかかる流れ

世帯の窓口負担割合が2割の対象となるかどうかは、75歳以上の人の課税所得^{※1}や年金収入をもとに、世帯単位で判定します。令和3年中の所得を基に、8月頃から判定が可能になります。

- ※1 住民税納税通知書の「課税標準」の額のこと。前年の収入から、給与所得控除や公的年金等控除など、所得控除などを差し引いた金額。
- ※2 この年金収入には遺族年金や障害年金は含まれない。
- ※3 事業収入や給与収入などから、必要経費や給与所得控除などを差し引いた後の金額のこと。



図表4 保険証の一斉更新

	1回目	2回目
郵送元	町役場	県後期高齢者医療広域連合
郵送時期	7月末まで郵送	9月末まで郵送
保険証の色	藤色	ピンク色
有効期限	今年9月30日まで	来年7月31日まで

〈問い合わせ先〉

健康増進課 国保係
☎ 45-4532
後期高齢者窓口負担割合
コールセンター
☎ 0120-002-719



議案5件、報告4件を審議・可決 6月町議会定例会報告

6月10日から14日までを会期に開かれた令和4年第4回町議会定例会では、条例の一部改正や令和4年度補正予算など議案5件および報告4件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項 報告から

町における新型コロナウイルスの感染状況と対応——
3月12日から6月8日まで

の間、町内で新たに53人の陽性が確認され、町内での累計感染者数は76人となっています。中でも、こゆりこども園においてはクラスターが確認されたほか、町役場内においても5人の職員の感染が確認されました。

町では、町内での感染者確認と「福島県感染拡大防止重点対策」の実施を受け、町対策本部会議で対応を協議してきました。これまでの主な対策としては、ケーブルテレビ

で町長メッセージや感染予防情報を放送したほか、臨時区長文書によるチラシの全戸配布、町ホームページによる注意喚起などを行いました。

新型コロナウイルスワクチン接種——
町での3回目追加接種は、今年1月7日に医療従事者から接種を開始し、国が示す優先順位により、高齢者施設入所者および従事者、65歳以上の高齢者、12歳〜64歳までの人、5歳〜11歳までの小児への集団接種を5月28日に終了しました。

また、ワクチン接種率については、6月1日現在、12歳以上の対象者5427人の

89・1割にあたる4835人が3回目の接種を終了しています。なお、町の集団接種会場では重篤な副反応の発生はありませんでした。

町総合計画検討会議の設置について——

町では、令和5年度から3年間の町総合計画・後期基本計画を本年度に策定することとしています。計画は、まちづくり基本条例に基づき、町民の皆さんの幅広い意見の反映を図るため、25人の委員を委嘱して総合計画検討会議を設置し、策定作業を進めていきます。



計画策定にあたっては、専門的な見地から指導・助言をいただくため、町最高デジタル責任者の藤井靖史氏をアドバイザーに、総合計画検討会議と町職員により組織する「総合計画策定プロジェクトチーム」が連携を図りながら、策定作業を進めていきます。

鳥獣被害の防止対策——

町では有害鳥獣による被害防止対策として、わな猟免許の取得支援や本年度から新たに猟銃購入費の助成制度を創設しました。このほかにも、5月18日からは猟友会によるパトロール活動を開始し、町鳥獣被害対策実施隊と連携した体制を整備しています。

さらに、本年度は大型獣の解体処理に要する負担軽減を図るため、解体処理施設を野沢・芝草地内の「旧野沢中学校跡地」の町有地に整備を進めていきます。5月15日には芝草自治区の皆さんに、整備の内容などについて説明会を開催しました。本施設の整備を契機として有害鳥獣被害の

拡大防止対策を一層推進し、将来的にジビエ加工施設としての活用も視野に入れ、関係機関に対し出荷制限解除に向けて積極的に働きかけを行っていく予定です。

可決された議案

◆町税条例の一部改正（専決処分）
地方税法の一部改正に伴う所要の改正

◆町国民健康保険条例の一部改正
国保加入者の負担軽減を図るための国保運営基金の活用および新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した減税のための税率などの変更

◆令和4年度一般会計補正予算（第1次）
先導的官民連携支援事業の採択を受けたことによる関係事業費や、新型コロナウイルスワクチン接種の4回目追加接種に係る経費など8464万7千円を増額
◆監査委員の選任への同意
鈴木和雄さん（山口）の選任に同意

町の資源を生かし、地域活性化を図る 株式会社モンベルと包括連携協定を締結

町では、アウトドア活動などの促進を通じて地域の活性化と町民生活の質の向上を目的に、国内大手アウトドア用品メーカーの株式会社モンベル（大阪府大阪市）と「連携と協力に関する包括協定」を締結しました。協定締結式は6月2日に行われ、薄町長と辰野勇代表取締役会長が協定を交わしました。

今後は、同社との連携・協力により、地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化をはじめ、自然環境保全意識の醸成、子どもたちの生きる力の育成、さらに健康寿命の延伸などを図っていきます。

同社との協定は、会津地域13市町村と県会津管内出先機関で組織する会津地域課題解決連携推進会議が今年1月に策定した「会津地域自治体広域連携指針」に合致する取り組みであることから、会津地域の全13市町村もそれぞれに同社と協定を締結することになり、13市町村と県が一堂に会し、合同協定締結式および広域連携共同宣言式を道の駅あいづ湯川・会津坂下で行いました。



▲協定書を掲げる辰野代表取締役会長と薄町長



▲会津地域13市町村長と関係者で記念撮影

料金の見直しや操作方法を相談 携帯電話料金相談会を開催

町では、5月10日にKDDI株式会社、5月13日に株式会社NTTドコモによる携帯電話料金やスマートフォンなどの操作方法に関する相談会を、まちなか再生拠点施設「にぎわい番所ぷらっと」で開催しました。

当日は各企業の社員が来町し、料金の見直しや契約内容の変更に関する相談を直接受け付けたほか、スマートフォンの操作方法やアプリの使い方などのアドバイスも行いました。

このほか、町では毎週火曜日に「デジタルよろず相談室」を開催しています。デジタル機器の操作方法や料金の見直しについても相談できますので、気軽に利用ください。

〈問い合わせ先〉

企画情報課 デジタル戦略室 ☎45-4536



▲KDDI株式会社による相談会の様子

◆デジタルよろず相談室

【開催日時】

毎週火曜日 午前10時～午後5時

【開催場所】

にぎわい番所 ぷらっと（旧野口燃料）
※7月26日は奥川みらい交流館、8月30日は新郷連絡所で開催。



災害発生時の被災者支援について協定を締結 町社会福祉協議会と西会津ライオンズクラブが連携

西会津町社会福祉協議会と西会津ライオンズクラブでは、災害時における協力に関する協定を締結しました。これは、町内における自然災害発生時に、被災地や被災者に対する支援をスムーズにかつ効果的に実施することを目的に取り交わすものです。

5月23日、町役場で協定書調印式が行われ、町社会福祉協議会会長の薄町長と西会津ライオンズクラブの武藤健会長が出席しました。式の中で武藤会長は、「災害などの有事の際に、速やかに対応し地域に貢献できるよう備えていきたい」とあいさつしました。



本年度より拡充 誕生を祝い健やかな成長を願う 高濱さん夫婦に出産祝金を贈呈

本年度より事業内容を拡充した「出産祝金」について、拡充後第1号となった高濱道法さん・夏海さん夫婦（8町内）に祝金と家族の絆応援クーポンが贈られました。5月18日に町役場で贈呈式が行われ、薄町長が高濱さん夫婦に祝金を手渡し、「子どもは家庭の宝であり町の宝でもある。健やかな成長を願い、町でも支援していきたい」とお祝いの言葉を送りました。

〈問い合わせ先〉
子育て支援センター 電話 45-4332



長年にわたり町民の健康増進に取り組む 食生活改善推進員に感謝状を贈呈

5月13日、町民の食生活改善の指導などを行う「食生活改善推進員」を25年以上務めた人に対する感謝状贈呈式が町公民館で行われました。本年度は2人が対象となり、薄町長から感謝状と記念品が贈られました。式の最後には、今回表彰を受けた猪俣八重子さん（写真左）が「研修会などの活動が楽しみで、25年はあっという間に過ぎた。これからも楽しみながら活動を続けたい」と謝辞を述べました。

◆表彰者〔敬称略〕
星真智子（漆窪）、猪俣八重子（小山）



安心・安全な地域づくりに活用 東北電力ネットワークがLED防犯灯を寄贈

町では、6月1日に東北電力ネットワーク喜多方電力センターよりLED防犯灯の寄贈を受けました。同日に町長室で行われた贈呈式では、喜多方電力センターの佐々木幸雄所長（写真右）が薄町長に目録を手渡しました。薄町長は「毎年のご厚意に感謝します。防犯灯の設置により、夜間でも町中が明るくなり、町民の皆さんが安心・安全に暮らすことができ感謝しています」と謝意を伝えました。今回寄贈されたLED防犯灯は、今後、町内10カ所に順次設置される予定です。



蔵を改修し、会津の文化人の作品を中心に展示 奥川・真ヶ沢に小さな美術館が7月18日オープン

会津坂下町出身で教員や郷土史家として活躍し、令和2年に亡くなった故 古川利意としいさんの作品を中心に展示する古川利意記念美術館「農とくらし」が7月18日にオープンします。

これは、以前から古川さんと親交があり、その作品を多数所有していた小野木麗子さん（真ヶ沢）が発起人となり、常時鑑賞できる場所づくりに取り組んできました。この美術館は、小野木さんの所有している蔵を改修したもので、古川さんの作品約400点を常設展示するほか、一部を多目的に使用できる企画スペースとして活用していく予定です。会津地域の貴重な民俗資料としても価値のある古川さんの作品を見に、ぜひ一度足を運んでみてください。

◆古川利意記念美術館「農とくらし」
【開館日時】 土日祝日 午前10時～午後5時
【場所】 下記のとおり（奥川大字飯里字里道 2246）



【観覧料金】 無料
〈問い合わせ先〉
☎080-6019-0384（小野木）



▲ホームページ



▲展示予定の古川さんの作品（一部）



◆企画番組「西会津なつかし car show」
3年ぶりに開催されたクラシックカーイベントの様子を特番でお送りします。
◆マイビデオ募集中! みんなの掲示板やコマージュナル(有料)も受付中!
〈問い合わせ先〉
(一社)西会津ケーブルネット
☎ 45-4461

お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
7月の放送案内

実施医療機関・実施期間・予約方法・受付期間

医療機関	有隣病院	坂下厚生総合病院
実施期間	7月1日(金) ～12月28日(水)	7月1日(金) ～9月30日(金)
予約方法	直接病院に予約 ☎ 0241-24-5021	町役場健康増進課に予約 ☎ 45-4532
受付期間	6月20日(月) ～12月21日(水)	6月20日(月) ～9月16日(金)

**乳がん施設検診
が始まります**

医療機関で行う町の乳がん施設検診が始まります。スムーズに受診できるよう、早めの予約をお願いします。乳がんは、早期治療により高い確率で治すことができます。2年に一度は乳がん検診を受診しましょう。

**消費生活出前講座
を開催しませんか**

喜多方市消費生活センターでは、振り込め詐欺や悪質商法などの被害未然防止と消費生活に関する情報や知識を深めてもらうため、消費生活相談員を講師として派遣し、自治区や学校に出向いて、出前講座を開催しています。講師の派遣は無料です。気軽に問い合わせください。

〈問い合わせ先〉
商工観光課 商工観光係
☎ 45-2213

◆対象者
満40歳以上の女性で、令和3年度に町の検診を受診しておらず、かつ乳がん検診受診助成事業を受けていない人。
※本年度の申込者には、健康づくり協力員を通じて、乳がん受診録、受診券を配付しています。

〈問い合わせ先〉
健康増進課 健康支援係
☎ 45-4532

西会津町給食センター デジタル見学ツアー①

町学校給食センターでは、西会津小学校と西会津中学校の給食(340人分)を、調理員8人・栄養士1人で心を込めて作っています。今回、子どもたちに大人気の「カレー」作りの様子を見学できる動画を作成しました。下記QRコードから視聴できます。





奥川地区の皆さんへ “オレンジカフェいいで愛”のお知らせ

オレンジカフェいいで愛は、介護やもの忘れに関する悩み事の相談、情報交換など、カフェでの交流を通して、もの忘れとの付き合い方や仲間と出会える場です。

【対象者】 奥川地区在住の人
【日時】 7月21日(木) 午前10時～
【会場】 西会津国際芸術村
【参加費】 無料(飲み物・菓子付き)
【申込み】 参加希望の場合は事前予約が必要です。前日までに地域包括支援センターに連絡ください。また、送迎が必要な場合も気軽に相談ください。

〈申込み・問い合わせ先〉
にしあいづ地域包括支援センター ☎ 45-3327
福祉介護課 介護係 ☎ 45-2214



町の顔として、町の魅力を発信 4代目「にしあいづ観光クルー」が決定

6月7日、新たに決まった4代目「にしあいづ観光クルー」の3人とにしあいづ観光交流協会の清水幹久会長が、就任のあいさつのため町役場を訪れました。

今回就任した西道紗恵さん、貝沼翔子さん、雅楽川由梨さんは薄町長にあいさつし、これからの観光クルーとしての活動への抱負や意気込みをかたりました。

3人の任期は3年間で、西会津町の顔として、各種イベントなどで町のPR活動を行い、町の魅力を広く発信していきます。



▲写真左から清水会長、西道さん、貝沼さん、雅楽川さん、薄町長

町長コラム その26

これからは日本海側に視点を向けたまちづくりが重要であると考えていたが、その糸口がなかなか見つからなかった。過去には、新潟県内の先進地町村の視察や、福島県と新潟県の県境にある8町村による県境圏域の振興を図るための調査検討を実施した経緯もあるが、調査で終わってしまった。

そんな過去の経緯の中で、何ができるのか思いを巡らせていたところ、先日、新潟日報社主催の「未来のチカラ in 阿賀路」のイベントが、阿賀野川(阿賀川)でつながる五泉市・阿賀野市・阿賀町・西会津町をエリアに開催された。本町がエリアになったのは、古くから新潟との結びつきが深いことであるが、新潟日報社の特別な計らいもあったようである。特に、5月20日～21日の2日間は「西会津フェア」と題して、町の食や地場産品を中心とした出展、西会津産米の無料配布、張り子の絵付け体験などが新潟日報メディアシップ(新潟市)で開催された。さらに、5月29日のなつかし car show や6月1日からの大山まつりの開催を新聞紙面1ページに大きく取り上げ宣伝していただいた。なつかし car show には当初の予想を上回る約6千人の来場者があり、また、大山まつりには例年より多い参拝者が訪れているようで、今年の出足は順調である。新潟日報社の温かい計らいに深く感謝を申し上げたい。

今後も同社との関係を大切にしながら、便利な交通条件などを活かし、日本海側や関西方面との関係構築に取り組んでいきたい。

西会津町長 薄 辰喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



会津管内では例年クマによる人身被害が発生しています。今年も本町ではクマの目撃情報が数件寄せられており、人家近くにクマの出没が確認されています。

クマに遭遇しないために、音の出る物を身に付け、人間の存在をクマに知らせるようにならしてください。また、フンなど新しいクマの痕跡を見つけた場合は、引き返す勇気を持ちましょう。

もしクマに遭遇してしまった場合は、背中を見せず、ゆっくりと後ずさりしながら離れ、立木の陰などクマの視界から外れて逃げましょう。

〈問い合わせ先〉
農林振興課 農政係
☎45-4531

クマの出没に
注意しましょう

◆**参加料**
1チーム 1500円

◆**申込方法**
申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて

◆**申込時期**
7月1日(金)～12月31日(土)

◆**チャレンジ期間**
7月15日(金)まで

◆**募集期間**
7月15日(金)まで

※町役場に申込書を持参する場合は7月8日(金)まで。

◆**チャレンジ期間**
7月1日(金)～12月31日(土)

◆**参加料**
1チーム 1500円

◆**申込方法**
申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて

◆**申込時期**
7月1日(金)～12月31日(土)

◆**チャレンジ期間**
7月15日(金)まで

◆**募集期間**
7月15日(金)まで

※町役場に申込書を持参する場合は7月8日(金)まで。



セーフティ
チャレンジに
参加しませんか

◆**相談専用電話**
0241-24-5353

◆**受付時間**
月曜日～金曜日
午前8時30分～正午、午後1時～5時

◆**注意事項**
○相談をスムーズに進めるため、事情の分かる本人からの相談をおすすめします。

消費生活相談
窓口のお知らせ

※申込書は県交通安全協会のホームページから取得できます。

◆**申込み・問い合わせ先**
県交通安全協会
☎024-591-5038
町民税務課 町民生活係
☎45-2215

◆**航空学生**
海18歳以上23歳未満の人
空18歳以上21歳未満の人
※いずれも高卒(見込含む)

◆**受付期間**
7月1日(金)～9月5日(月)

◆**試験日・会場**
○1次試験
試験日11月9日(月)
会場11受付時に通知

自衛官を募集
しています

◆**応募資格**
18歳以上33歳未満の人
年間を通じて募集

◆**試験日・会場**
受付時に通知

◆**応募・問い合わせ先**
自衛隊福島地方協力本部
会津若松出張所
☎0242-27-6724

◆**1次試験**
試験日11月15日(土)～18日(日)のうち指定する1日
会場11受付時に通知

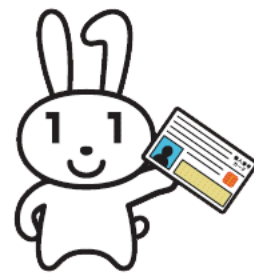
◆**2次試験**
試験日11月22日(土)～25日(日)のうち指定する1日
会場11後日通知

◆**一般書候補生**
18歳以上33歳未満の人

◆**受付期間**
7月1日(金)～9月5日(月)

◆**試験日・会場**
○1次試験
試験日11月15日(土)～18日(日)のうち指定する1日
会場11受付時に通知

○2次試験
試験日11月22日(土)～25日(日)のうち指定する1日
会場11後日通知



マイナポイント事業第2弾
追加分の受付が始まりました



▲ホームページはこちら！

マイナンバーカードとキャッシュレス決済の普及を目的として開始された「マイナポイント事業」が、6月30日より、マイナポイント第2弾追加分の受付が開始となりました。前回分と合わせると、最大2万円分のポイントが受け取れます。ぜひこの機会に「マイナンバーカード」を取得し、マイナポイント事業を活用しましょう！

申請や登録はスマートフォンからでき、町役場町民税務課では、申請から登録までを一からサポートしています。マイナンバーカードの申請に関する、マイナポイントについて分からないことがある場合は、気軽に相談ください。

◆**申請・問い合わせ先**
町民税務課 町民生活係 ☎45-2215

項目	付与されるポイント	ポイントの申込期間	対象となるカード申請期限
新規でマイナンバーカードを取得	5,000円 ※2万円のチャージまたは買い物に対しポイントを付与。	令和4年1月～ 令和5年2月28日	令和4年9月30日
マイナンバーカードを取得済みで、マイナポイントを未申請	◆ 追加分 健康保険証として登録 各7,500円 ※チャージや買い物は不要。 公金受取口座として登録	令和4年6月30日～ 令和5年2月28日	

さゆり公園
屋外プール
7月16日オープン

今年もさゆり公園屋外プールがオープンします。屋外プールで泳ぎ、日頃の運動不足やストレスを解消しましょう。

◆**営業期間**
7月16日(土)～8月21日(日)

◆**営業時間**
午前9時30分～正午
午後1時～4時

◆**休業日**
屋内・屋外共に毎週月曜日

◆**検定日**
※祝日の場合は火曜日
7月16日(土)、23日(土)、30日(土)、8月6日(土)

◆**利用料(夏季)**
○大人 300円
○高校生 200円
○小・中学生 100円

◆**その他**
屋内プールは通年営業しています。

◆**問い合わせ先**
さゆり公園 管理棟
☎45-4317

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆**大きさ** 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
◆**掲載料** 1枠当たり5,000円/月

◆**問い合わせ先**
企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536





西会津消防署の皆さん

◎5月から署員全員で町の健康ポイント手帳に取り組んでいます！

西会津消防署に聞く！

熱中症にならないために

今回は、西会津消防署救急救助係第一係長の伊藤和司さん（写真右から2番目）に、これから迎える暑い時期に気を付けてほしい「熱中症予防」についてインタビューしました。

健康増進課 健康支援係
ひらの ゆみこ
平野 由美子 保健師

◎4月より町の保健師として奥川地区を担当。



熱中症はどうして起こるのですか？

熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどい時に、けいれんや意識の異常など、さまざまな障害を起こす症状のことです。高齢者や子どもは熱環境の影響を受けやすく、特に熱中症に注意が必要です。

毎年どのくらいの人が熱中症で搬送されているのですか？

全国では、毎年約4万人以上の方が熱中症で救急搬送されています。昨年、町内では熱中症の疑いを含め10件の救急搬送があり、そのうちの9割が高齢者と18歳以下の未成年者でした。皆さんも正しい知識を身に付け、体調の変化に気を付けるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症を予防するポイントは何ですか？

熱中症の予防は、こまめに水分補給すること、暑さを避けることです。喉の渴きを感じなくても、こまめに水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給してください。



すごいな！むし歯のない子



かえて 齋藤 楓ちゃん (上野尻)



しゅう 青木 萩くん (9町内1)

5月12日、3歳児3人を対象に健康診査を行った結果、2人にむし歯がありませんでした。

西会津消防署では、町ケーブルテレビでの広報活動や、アンビュランスサポート隊（応急手当普及員）と協力した救命講習の開催およびイベントを通して住民への応急手当の普及活動などを行っています。講習会の開催希望など詳細については、下記まで問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

西会津消防署 ☎45-3119

集落支援だより

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺です。

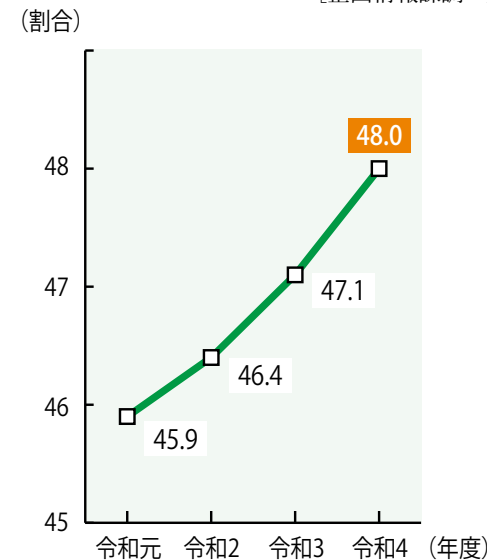
今月の集落支援だよりでは、町の高齢化率の状況と奥川七観音ウォークの様子についてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当
わたなべ たかひろ 渡辺 貴洋 隊員

グラフ 町の高齢化率の推移

[企画情報課調べ]



※令和元～3年度は4月1日時点、令和4年度は6月1日時点の数値。

西会津町は、全人口に占める65歳以上の人の割合である「高齢化率」が県内で4番目に高い町となっています。集落支援業務では、自治体の現状などを把握するために、毎年、町全体や自治区ごとの高齢化率を算出しています。本年度の町の高齢化率は、48.0%と昨年度より0.9%高くなっています。私が地域おこし協力隊に着任した4年前と比較すると、約2%高くなっており、年々増加傾向にあります。また、町の人口も年々減少

し、4年前に約6300人いた人口も本年度は5800人を下回っています。これは、1年あたり約200人ずつ減少している計算になります。そうした人口減少や高齢化が進む中でも、自分たちでできることから集落の元気づくりにつなげていこうとする集落も増えていきます。集落活動の維持のため、大学生をはじめとした町外の若者との交流活動もその1つです。交流を楽しみながら、活動の担い手を集め、集落の負担の軽減につながるよう、引き続き支援していきたいと考えています。



下松観音堂での様子

奥川七観音ウォークを開催
6月5日、奥川地区の御詠歌が残る7つの観音堂を巡る「奥川七観音ウォーク」が今年も開催されました。今年、3年ぶりに参加者の制限をかけずに実施され、町内に限らず、新潟県や会津坂下町など近隣各地から10人が参加しました。当日は、奥川みらい交流館を出発し、道目、下松、向原、中ノ沢、松峯、小山の林道を通り、真ヶ沢、中町の順番で奥川地区を周遊しました。汗ばむ陽気の中、参加者の



石段を登る参加者の皆さん

皆さんは、各観音堂の説明や奥川地区についての話を聞いたり、それに対して質問をしたりしながら12以上の道のりを歩きました。普段は車などの乗り物で移動することが多いためか、ゆつくりと自分のペースで歩くことに新鮮さを感じている様子でした。また、参加者の皆さんには、観音堂ごとに七観音ウォークオリジナルの御朱印帳が配られました。このイベントでしか手に入らない特別な御朱印を集めた充実感や、長い道のりを歩いた達成感を味わいながら奥川地区の歴史や景色を堪能しました。

戸籍の窓口

(5月受付分)

■ まちの人口

	6月1日現在	(前月比)
人口	5,782人	(-15人)
男	2,810人	(-3人)
女	2,972人	(-12人)
世帯	2,540世帯	(-6世帯)

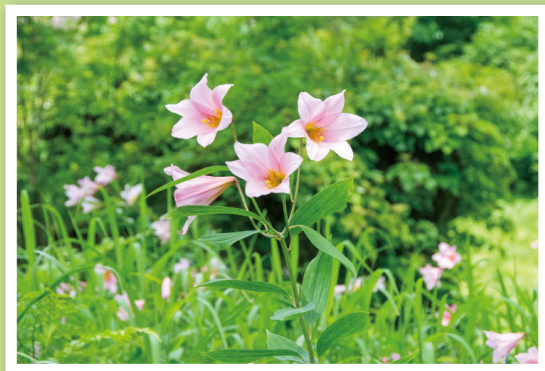
■ ご結婚おめでとう

齋藤 孝洋 上野尻
増井 かおり 北塩原村

佐藤 雄太 上野尻
西道 紗恵 上野尻

■ お悔やみ申し上げます

加藤 良子 (89)	英男	母	4町内
山形 奠子 (95)	渡部 龍哉	姉	9町内2
長谷川 清子 (81)	俊三	妻	下小屋
齋藤 恒雄 (76)	恒久	父	尾登
田崎 薨 (93)	細 浩一	父	黒沢
伊藤 千代子 (95)	望	母	出ヶ原
安味 鶴子 (89)	幹夫	母	牛尾
伊藤 昭 (84)	渡邊 武	兄	下野尻



安座のおとめゆり群生地 (6月13日撮影)

Dream

聞いて！わたしの夢



[3年・特設陸上部 部長]

わたなべ こたろう
渡部 虎太郎 さん

◆ 私の夢——

僕の将来の夢は、ITエンジニアになることです。きっかけは、とある大学の情報学部でいろいろな研究をしている様子をYouTubeで見て、面白そうだなと思い、興味を持ったからです。

◆ 努力していること——

さまざまな機械のシステムなどを調べて、情報を集めています。

◆ 未来の自分に一言——

たくさんの壁にぶつかるかもしれないけど、自分の意志を貫いてください。

Person

町民バトンタッチ

みずの ちえ
水野 知恵 さん [森野]

◆ 趣味は？

話題の絶景巡り

◆ 特技は？

一度会った人は忘れません

◆ 熱中していることは？

今年から挑戦している畑づくり

◆ 自分を一言で表現すると？

単純

◆ あなたのモットーは？

何事も遅過ぎることはない

◆ 最近感動したことは？

高2の息子が自分で遠征の準備をしたこと(笑)

◆ これからやってみたいことは？

体力づくり(西会津スポーツクラブでズンバを極めたい)

◆ 次の方を紹介してください

A・Iさん

とっておきの物は？

一番下の子が駄々をこねて、やっとやっとで撮影できた思い出の写真です(笑)



秦 育美 さん (6月号)
からメッセージ

お料理上手な知恵さん。またレシピを教えてください。



Column

協力隊リレーコラム

奥川の風景と「くらし」の絵

地域おこし協力隊芸術担当の西尾です。西会津に来てもうそろそろ2年近くなりました。昨年、奥川地区真ヶ沢集落の小野木さん宅の蔵を改修してつくる小さな美術館、古川利意記念美術館「農とくらし」の立ち上げ準備に奔走しています。これまで主に週末に有志を募り、改修を進めてきました。収蔵作家の古川利意さんは出身が会津坂下町ですが、西会津町の山城の調査をされたり、高校教諭を数年間されていたこともあり西会津町と縁のある方です。私は、古川さんの絵を初めて拝見した時、温かみのある人の表情と色合い、優しい筆遣いが奥川の風景と重なって見えました。

小さい場所ですが、いろいろな皆さんの技と工夫が詰まった手作りの美術館です。ぜひ足を運んでください！そして、これまで立ち上げに関わってくださった皆さんに感謝いたします。

(15ページに関連記事)



にしお かな
西尾 佳那 隊員

神奈川県出身。東京芸術大学大学院美術研究科修了。場と人とことをつなげるアート企画を模索中。その傍らで自らも作家としての活動を行っている。

黒沢・大滝不動堂の不動明王像 ～その1～

平成28年8月、「黒沢 幻の歴史探検」というイベントを行った際、大滝不動堂にあった厨子ずしの中から1躯の古びた木製の仏像が発見されました。その調査を福島県立博物館に依頼したところ、次のことが判明しました。

- ◎この仏像の構造は頭や体などその根幹をなす部分を1本の木で造る「一木造り」いちぼくづくで、像の内部をくり抜いて軽くしたり、乾燥によるひび割れを防いだりするための「内削り」うちが施されていません。これは全国的には平安時代など古い時代の技法ですが、会津地方においては鎌倉時代以降の仏像にもよく見られます。
- ◎不動明王像は一般的にがっちりとしたいかり肩に造られますが、この像はなで肩に造られ、本来の形からは変形しています。
- ◎着衣が像の前面と背面でつながらないなど独特の形状をしています。
- ◎会津地方で不動明王像が作られるのは鎌倉時代以降と考えられますが、側面のプロポーションは安定感があり整っていることから、像形からして鎌倉時代初期まで制作年代がさかのぼることはないと思われます。



この像は表面の摩滅が激しいことや、かなり地方的要素の強い独特の形であることなどから判断は難しいところではありますが、13世紀後半から14世紀の鎌倉時代後半から南北朝・室町時代初期にかけて造られたものと考えられます。

中世以降の新しい時代に会津で造られたもので、この地方における密教や修験道のあり方を考える上でも非常に大切な仏像になります。

今月の表紙

今月は、大盛況となった西会津なつかしカーショーより。イベントの最後には、「サヨナラパレード」と題し、来場者の皆さんでエントリー車両を見送りました。

(2ページに関連記事)

編集後記

先日、見頃のおとめゆりを写真に収めようと安座の群生地を訪れたところ、郡山市からいらつしゃっていただけ夫婦に声を掛けられました。

『おとめゆりも見事だが、花かつみがたくさん自生していて驚いた』と話すご夫婦。

この「花かつみ(別名ヒメシヤガ)」は、郡山市の市の花に制定されている紫色の花で、市内でもなかなか見られるものではないとのこと。おとめゆりよりも見頃が少し早いよううで、散ってしまったものも多かったため、『来年はもう少し早めに来ようかな』と話していました。(泰)